

## スズメウリの蔓は地面に潜って珠芽をつくり栄養繁殖する

菊田 穰 (さんだネイチャークラブ)

### はじめに

スズメウリ *Melothria japonica* Maxim ウリ科は植物図鑑では一年草になっている、ところが私の経験では、秋に蔓の先端が地下に潜り込み肥大し、地下茎状(珠芽)になり、翌年その珠芽から発芽して新に個体に成長することを確認している。

十数年前に鉢植えにしたスズメウリが、秋に蔓の先が植木鉢の下に潜り肥大し地下茎のようになり(珠芽)、翌年その珠芽から芽が伸び成長し、秋には沢山の実をつけた。

以後、私はスズメウリは一年草かなと疑問を抱いている。

### 再確認

昨年(2012年)改めてスズメウリの珠芽形成の観察をすべく、鉢栽培を試みた。3月に種子を播種し発芽した苗を4号の底面灌水鉢に植え、生育を見守った。

11月に株の根元を引き抜き、蔓をたどると多くの蔓の先端が、土中に潜り、掘り出すと肥大した珠芽が現れた。(写真1)

蔓と珠芽の一部は人博の布施先生に標本にして貰うために持参した。

2013年2月になり周辺を改めて確認すると20本近くの珠芽が出てきた。その後各珠芽から新芽と根が伸びだした。その1本を鉢植えにして再度栽培した。また、ネイチャークラブの会員の希望者にも苗を渡して栽培してもらった。



### 自生地(野生)では

自然界ではどうかと疑問を持ち、三田市下田中の自生地に確認しに出かけた。やはり自生地でも、蔓の先端が地下に潜り珠芽ができていた。自然界でも珠芽形成が確認された。(写真2)



### まとめと考察

スズメウリは果実での繁殖以外にも、珠芽による無性生殖をしていることを確認できた。むしろ、果実による種子からの繁殖は、冬の間果実や種子が野鳥やネズミなどの小動物に食べられ、春までにはほとんど無くなるため、珠芽により子孫を残すようになってきたのではないかと推察する。

また、ヤマイモのように親芋が枯れて横に新しい芋ができる植物を「擬似多年草」と言うようだが、スズメウリも擬似多年草に属するのではないか。擬似多年草のヤマイモなども図鑑では多年草と記載されている、それから考えるとスズメウリも多年草になるのではないかと思う。